

- 1 脱炭素化へのルールチェンジは突然に・・・北九州市の戦略
- 2 脱炭素社会実現に向けた北九州市の役割と具体的な実施内容
- 3 「再エネ100%北九州モデル」の構築【サーキュラーエコノミーの要素活用】
- 4 北九州都市圏域での脱炭素の推進【「再エネ100%北九州モデル」の横展開】
- 5 2025年度までの市内公共施設再エネ100%電力化の達成とPR手法の確立
- 6 北九州市脱炭素電力認定制度の創出とPR手法の確立【企業の応援】
- 7 連携協定締結と新技術の開発から社会実装へ
- 8 まとめ





【制度概要】

本制度では、北九州市が以下の2つを実施。

- ①本認定制度に賛同いただき、脱炭素電力メニューをお持ちの小売電気事業者の登録
- ②脱炭素電力メニューの契約している市内企業等の認定

【特典】

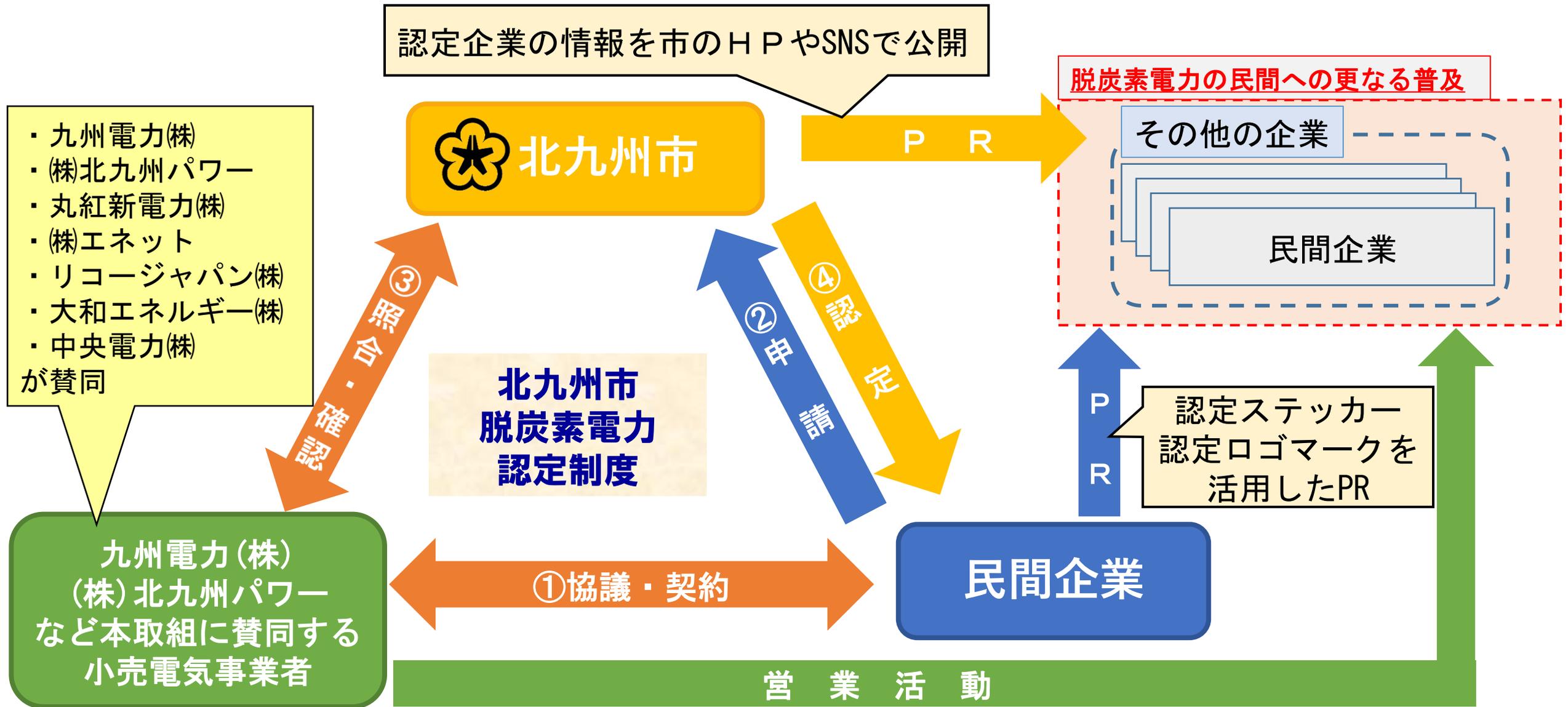
北九州市脱炭素電力認定制度の認定企業には、認定ステッカー及び認定ロゴマークの提供、本市HP や SNS での公開に加えて、以下の特典が適用。

- 1 まち・ひと・しごと創生総合戦略資金の融資対象
- 2 北九州 SDGs 登録制度の申請における、一部のチェック項目の記載免除
- 3 北九州エコプレミアム産業創造事業の選定検討時における加点
- 4 北九州市環境未来技術開発助成金の審査における加点
- 5 北九州市サステナブル環境ビジネス展開事業の審査における加点

※先着100社については、『脱炭素先進企業』として認定し、認定証を発行

【認定企業数】 24社（32施設）、【削減した年間CO₂量】 約42,318t/CO₂ 2022/10/13現在

6-2 北九州市脱炭素電力認定制度【ステップ1の普及】



- ・九州電力(株)
 - ・(株)北九州パワー
 - ・丸紅新電力(株)
 - ・(株)エネット
 - ・リコージャパン(株)
 - ・大和エネルギー(株)
 - ・中央電力(株)
- が賛同

九州電力(株)
(株)北九州パワー
など本取組に賛同する
小売電気事業者



北九州市内企業等の再エネ100%電力等によるCO2削減量の見える化 2022/10/13現在

認定企業・団体数

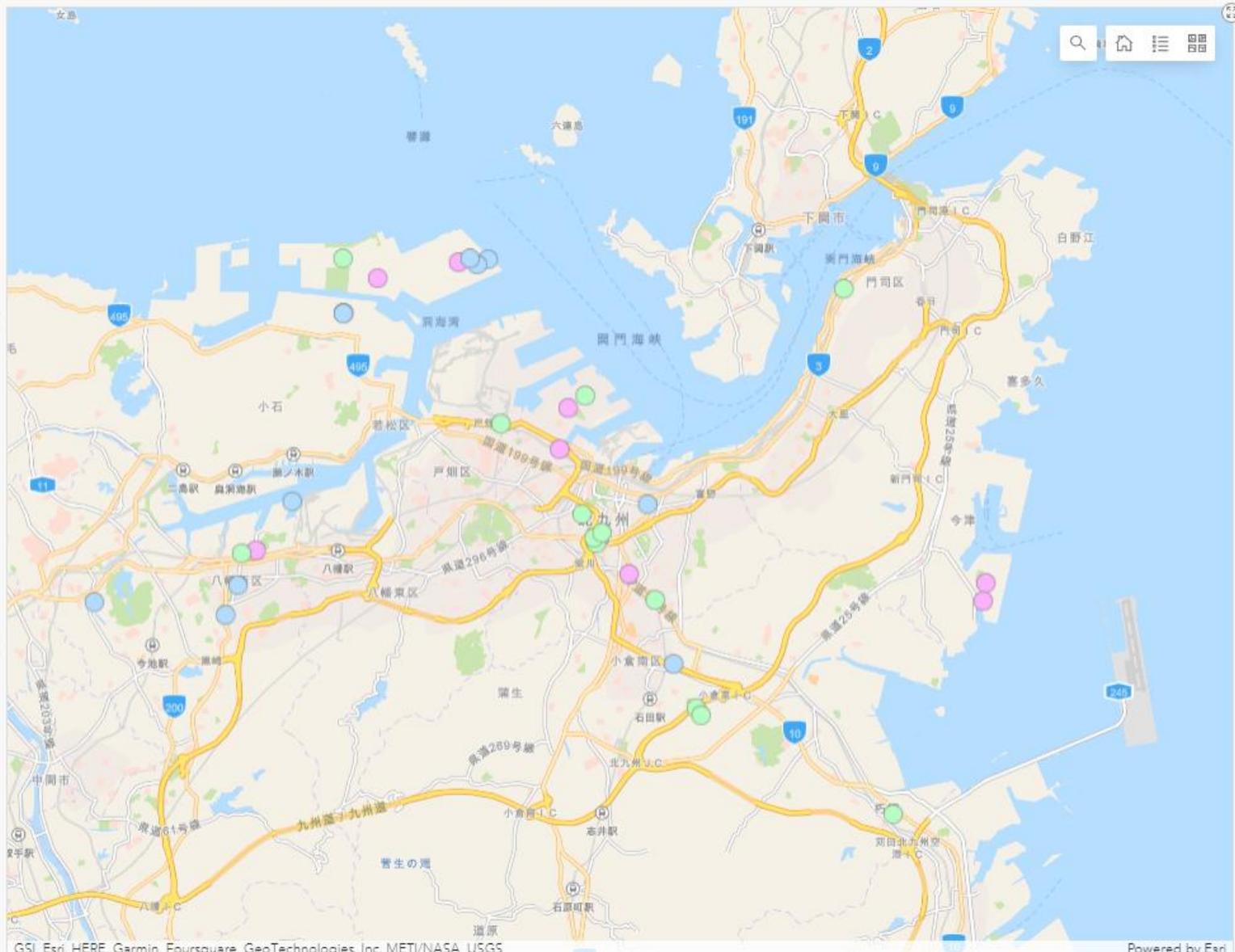
24

認定施設数

32

削減したCO2量 (合計)

42318.27
t/年



北九州市 株式会社ビートルエンジニアリング

編集 × 北九州都市圏域の再エネ100%電力化の取組

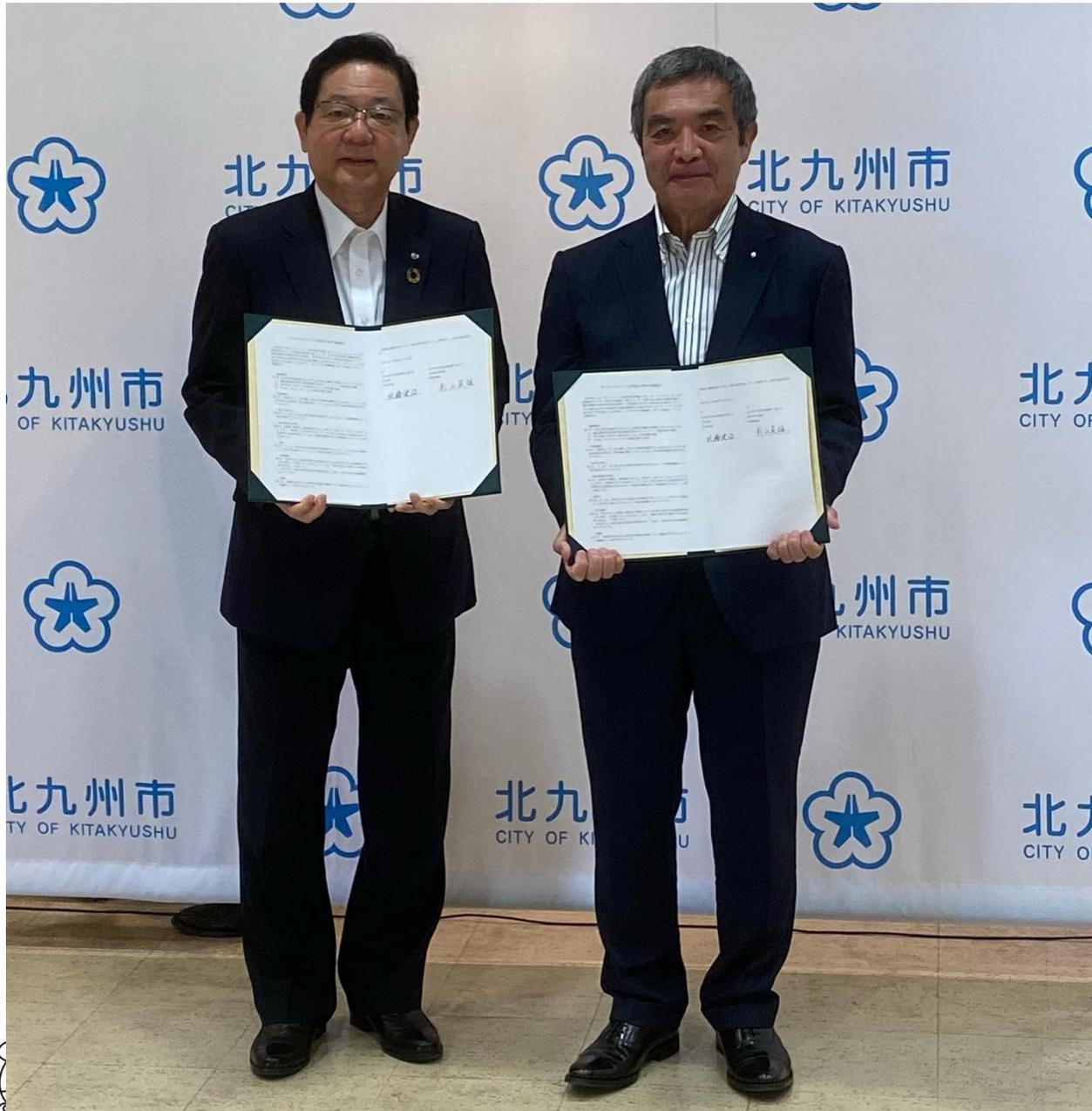
北九州市は、環境に力を入れた自治体です。リサイクルや廃棄物処理に携わる我々としては、脱炭素社会につながる取組に関わっていくことは使命だと考えています。そのような中、北九州市で再エネ100%電力の取組が始まったと聞き、急ぎ社内調整をして若松事業所への導入に踏み切りました。せっかくやるなら「市内で1番に」という思いを持って進めました。

再エネ100%電力導入への思い



- 1 脱炭素化へのルールチェンジは突然に・・・北九州市の戦略
- 2 脱炭素社会実現に向けた北九州市の役割と具体的な実施内容
- 3 「再エネ100%北九州モデル」の構築【サーキュラーエコノミーの要素活用】
- 4 北九州都市圏域での脱炭素の推進【「再エネ100%北九州モデル」の横展開】
- 5 2025年度までの市内公共施設再エネ100%電力化の達成とPR手法の確立
- 6 北九州市脱炭素電力認定制度の創出とPR手法の確立【企業の応援】
- 7 連携協定締結と新技術の開発から社会実装へ
- 8 まとめ





(株)井筒屋

北九州市に本社があるデパート
北九州市役所と紫川を挟んですぐ近
くに立地

【連携内容】

- ・電気自動車の活用及び普及促進を
目指した、EVシェアリング実証
事業の実施
- ・再生可能エネルギーの導入促進と、
ゼロカーボンドライブの普及



トヨタ自動車九州(株)
北九州都市圏域と構成する宮若市に
本社があり、北九州市にも小倉工場
がある。

【連携内容】

- ・ 車載用バッテリーのリユース・リサイクルに向けた連携
- ・ 水素の活用などカーボンニュートラル実現に向けた取組の推進





九州電力(株)

一般送配電会社をグループ会社を持つ
大手電力会社、系統用蓄電池への知見
も豊富

【連携内容】

- ・再生可能エネルギーの利活用及び導入拡大（蓄電池の活用など）
- ・脱炭素化に向けたエネルギーの転換
- ・北九州都市圏域における脱炭素に向けた取組の推進





九州工業大学
北九州市内に立地する国立大学
これまでも環境分野における技術開発
を多数実施

【連携内容】

- ・ 大規模蓄電池のエネルギーマネジメントシステムの社会実装
- ・ 次世代発電（円筒型太陽電池等）蓄電技術のエネルギーマネジメントの実証
- ・ 竹を資源にした循環社会システムの構築
- ・ EVの走行による消費電力量推定システムの構築
- ・ 電力市場価格予測システムの構築



- 連携協定は市が各者と個別に締結したが、脱炭素に関する技術は、技術同士が連携することでブレークスルーを起こすことも可能！
- 各団体の代表者が顔を合わせることで、今後の技術連携が生まれる可能性もあることから、一緒に連携協定式を行った。
- 今後も具体的な取組をできる企業・大学とは連携協定を締結して、脱炭素社会の実現に向けて共に進めていく予定！



北九州市・ダイキン工業株式会社・株式会社デンソー九州・株式会社 Yanekara

地元企業への脱炭素化支援に向けた企業との連携協定 締結式



ダイキン工業(株)

これまで本市とともに第三者所有方式での空調機の導入を実施してきた。空調機の遠隔制御技術を保有。

【連携内容】

- ・ 第三者所有方式による高効率空調設備の普及支援
- ・ IoTを活用した設備管理による長寿命化・空調設備、LED等を地域単位でエネルギーマネジメントを行なうことによる再生可能エネルギー最適利用の実現
- ・ 冷媒を再生する手順と更新後の機器に再生冷媒を利用する際の手順の確立

北九州市・ダイキン工業株式会社・株式会社デンソー九州・株式会社 Yanekara

地元企業への脱炭素化支援に向けた企業との連携協定 締結式



(株)デンソー九州

自社で行ってきた製造ラインの見直しやV2Hに関する知見を保有。

【連携内容】

- ・ 中小企業向け製造ラインの効率化への支援
- ・ 充放電器、充電器に関する実証を通じたEV、PHEV及びV2Xの普及促進
- ・ 再エネ100%電力の普及促進や再生可能エネルギーの有効活用の推進



北九州市・ダイキン工業株式会社・株式会社デンソー九州・株式会社 Yanekara

地元企業への脱炭素化支援に向けた企業との連携協定 締結式



(株)Yanekara

太陽光パネルから直流のままEVへ充電できかつ1機の親機で4台のEVとの充放電を可能とする充放電器の技術を保有。

【連携内容】

- ・ 太陽光パネルから効率的に電動車に充電する充放電器の社会実装の推進
- ・ 充放電器の制御による再生可能エネルギーの最適利用に寄与する仕組みの構築

北九州市・ダイキン工業株式会社・株式会社デンソー九州・株式会社 Yanekara

地元企業への脱炭素化支援に向けた企業との連携協定 締結式



- ・ 今回の連携協定では市が各者と個別に締結したが、この3社は、EV充放電に関する技術を保有する企業である。
- ・ 本市がHUBとなり、3社が連携し、脱炭素技術におけるブレークスルーを起こしていきたい。
- ・ 今後も **具体的な取組をできる** 企業・大学とは連携協定を締結して、脱炭素社会の実現に向けて共に進めていく予定！



- 1 脱炭素化へのルールチェンジは突然に・・・北九州市の戦略
- 2 脱炭素社会実現に向けた北九州市の役割と具体的な実施内容
- 3 「再エネ100%北九州モデル」の構築【サーキュラーエコノミーの要素活用】
- 4 北九州都市圏域での脱炭素の推進【「再エネ100%北九州モデル」の横展開】
- 5 2025年度までの市内公共施設再エネ100%電力化の達成とPR手法の確立
- 6 北九州市脱炭素電力認定制度の創出とPR手法の確立【企業の応援】
- 7 連携協定締結と新技術の開発から社会実装へ
- 8 まとめ



北九州市「エアコン導入×脱炭素」積極推進の理由

環境先進都市が官民で目指す、再エネ100%

ダイキン工業

制作：東洋経済ブランドスタジオ

AD

2022/09/14

いいね! 0

シェアする

ツイート

一覧

BI 0

印刷

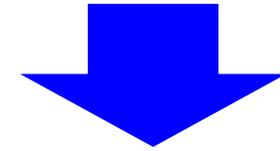
A

A

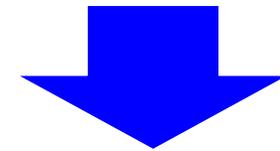


北九州市が今、環境先進都市として「ゼロカーボンシティ」を掲げ、全国から注目されていることをご存じだろうか。脱炭素に向けて、独自のモデルを構築し積極的な施策を講じている。中でも特徴的なのが、生活インフラとして不可欠なエアコンの導入・刷新に当たり、空調専門メーカーのダイキンと協働して新たなスキームを採用していることだ。その狙いはどこにあるのか？ 同市のキーパーソンに話を聞いた。

2022/9/14に東洋経済オンラインにエアコンの第三者所有方式での導入に関する記事が掲載されました！



反響が大きく、既に全国の自治体から問い合わせをたくさんいただいています！



この記事を引きかけとした「再エネ100%北九州モデル」の全国展開の流れが見えてきました！

ご清聴ありがとうございました！

北九州市環境局再生可能エネルギー導入推進課

担当：塩田 淳 博士（工学）

TEL：093-582-2238

メール：atsushi_shiota01@city.kitakyushu.lg.jp

